

2016年度 基本方針

美濃加茂市とダボ市の姉妹都市提携が結ばれ、交流が始まってから四半世紀を迎えた。美濃加茂市中之島公園にはダボからの提案を取り入れたバーベキュー広場が出来つつある。ダボ市との交流は県内でも希な成功例であると言っても過言ではない。お互いの交流の中から結ばれた信頼関係が、人の交流だけでなく、文化の交流にまで広がっている。

ここ数年、協会の活動は、事務局を中心に、会員の協力を得て、幅の広い活動を行うことが出来るようになった。これらを可能にしたのは専任事務局長の存在が大きい。さらなる発展のために事務局長を補佐する体制の強化を図って行く必要があると考えている。

昨年度から、在住外国人定住促進化事業を行ってきた。定住化の進む日系やその他外国の人たちとの交流を図り、地域での連携や、生活の悩み事、子どもの教育などについてお互いに理解し合い、共に生活するための事業である。今年度はさらに、外国籍児童生徒のための学習支援事業もあわせて展開する。

また、本年度は当協会が設立されて25周年に当たる。四半世紀を振り返り、今までの歩みとこれからの展望を皆さんと共に総括していく年にもなると考えている。協会に思いをよせてきた方々と共に記念事業を行う予定である

これからも当協会は美濃加茂市及びみのかも定住自立圏における国際交流をリードする存在でありたいと願う。これを実現するための今年度の活動方針を以下に示す。

(1) ダボ市との交流事業の継続、

市や関係町と協力してダボ市への青少年派遣、市の青少年の受け入れを実施する。

日本庭園のための庭師派遣事業の継続に加え、中之島のBBQ施設を利用して、文化の交流を進める。

(2) 地域の多文化共生に関わる事業展開

多文化共生推進に関わる市からの委託事業は本年度も継続し、日本語指導教室の充実を図っていききたい。また可児市国際交流協会との連携を保ち、共通課題に対してはお互いに補完し合いながら新たな事業を進めていく必要がある。地震時の対応など、緊急を要する課題も見えてきている。

同時に日本の青少年に、海外留学の紹介や、日本を知るための講座などを積極的に推進し、在住外国人との交流の場を提供していきたい。

(3) 事務組織の強化

各種事業を効率的に実施するためには、NPOの特性を生かしたフットワークの軽さを生かしつつ、事務局体制の強化を実現しなければならない。新たな事務局員を確保し、増大する事務への対応を図る。